

## 感染症流行予測調査における採血にご協力いただいた方へ

当所では、厚生労働省感染症流行予測事業に基づき、麻疹、日本脳炎、水痘の抗体価調査を実施しております。集計、解析された結果は、「感染症流行予測調査報告書」として厚生労働省から発行され、今後の予防接種計画の作成や感染症の流行を予測するための資料として利用されています。また、結果は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページ（外部サイトにリンクします）にも公開し、広くご覧いただけるようになっています。

本事業にご協力頂き、包括同意をいただいた方の血清につきましては、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

- 研究課題名

ピコルナウイルスの抗体保有に関する研究(1912-07-3)

- 研究期間

令和5年4月1日から令和8年3月31日

- 検体採取期間

平成22年4月1日から令和8年1月31日

- 研究責任者

ウイルス課主任研究員

中田 恵子

- 研究概要

ピコルナウイルス科に所属するエンテロウイルス、パレコウイルスA等は、新生児から高齢者まで広く感染し、不顕性、呼吸器症状、消化器症状、中枢神経症状などの広範囲な症状を引き起こします。各ウイルスに対する抗体保有率の情報は、これらのウイルスによる感染症の流行の予測に非常に有用です。そこで、本研究では新生児から高齢者までの広い年齢層におけるピコルナウイルス科のウイルスに対する抗体保有率（抗体価）を調査します。

- 研究に用いる試料、情報の種類

試料：血清

情報：性別、年齢、ワクチン接種歴

ご提供いただきました検体や情報が検査以外の研究に利用される事を好まれない方は、遠慮なく下記の研究企画課までご連絡ください。研究対象から除外します。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

また上記研究課題に関するご質問等につきましても、下記の研究企画課にご相談ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

研究企画課

電話番号：06-6972-1321

ファクス番号：06-6972-2393